

初級者向け

Python 講座

プログラミングで楽しく遊んでみよう！

授業で学んだコードの使い道や
実際の応用例を
演習形式で紹介します！

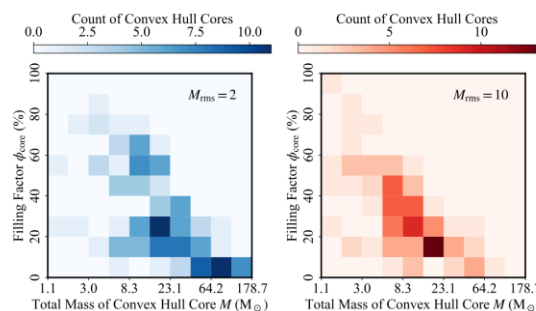


Figure 8. Correlation between the mass within the convex hull volume ($\phi_{\text{conv}}(M/M_{\odot})$) and the filling factor (%). The left panel corresponds to the model with $M_{\text{rms}} = 2$, while the right panel corresponds to the model with $M_{\text{rms}} = 10$. The color scale indicates the number of convex hull cores in each bin.

Nozaki, Shingo, et al. "Tracking Star-forming Cores as Mass Reservoirs in Clustered and Isolated Regions Using Numerical Passive Tracer Particles." *The Astrophysical Journal* 980.1 (2025): 101.

Pythonで
こんなグラフも
作成できます

日時・会場

2026年

7月8日

水

16:40-18:30

18:30-18:40

説明&演習

質疑応答

理系図書館 3F 大会議室

定員20名 ※PC持参

講師：図書館TA(Cuter)

野崎 信吾

(理学府 地球惑星科学専攻 博士3年)

天文学に関する大規模数値シミュレーションデータの可視化や論文の図を描く際に、Pythonを使用しています。

参加申込 九州大学所属の方ならどなたでもOK！

図書館ウェブサイト > イベント

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/events/cutercafe64>

または右のQRコードから



- * 本講座は Pythonの基礎知識があり応用を学びたい方が主な対象です
文系/理系は問いません
- * 『プログラミング演習』を履修していることが望ましいですが、必須ではありません
- * 演習には Google Colaboratory を使用します。サンプルコードの穴埋めや変数部分をご自身で考えていただきます(Google アカウントが必要です)
- * 本講座は日本語で開催します

演習内容

- 基本問題 (Fizz Buzz)
- データの処理と可視化

【基礎】

- データの取得・整形
- 可視化の基本

【応用】

- カラーマップ・3次元的な可視化
- さまざまな可視化・グラフ化
matplotlib編、seaborn・plotly編
- 大量のデータの可視化・画像保存
- データ分析

● 応用例の紹介

- CuterのPython活用事例
- おすすめパッケージの紹介

レベルに合わせて
演習できます！
(Cuterのサポートあり)